

第二地連新聞

| | |
|------|----|
| 発行 | 責任 |
| 第二地連 | 議長 |
| 編集 | 責務 |
| 第二地連 | 教宣 |
| 東京 | 清組 |
| 労働 | 二地 |
| 第二 | |

2009年11月15日
第7号

10月25日(日)
国労団結
まつり
木場公園



荒北台文

小雨の中の団結まつり

温かい豚汁で交流深まる!

第23回国労団結まつりが、10月25日(日)木場公園イベント広場で開催されました。第二地連と

当日は、雨が降る中朝早くから事前の仕込み等を行いました。午前10時からの販売開始時には、雨も小雨になり、近所の住民の皆さんが多く足を

運んでくれたため、豚汁とウーロン杯は見事に完売をしました。
この国労団結まつりは、当局に不当解雇された一〇四七名の解雇撤回、また、すべての闘争団をはじめあらゆる争議団の勝利等、より一層の団結を図るために、重要

な取り組みになっています。
今回のこの国労団結まつりを、来年度以降も取り組んでいきたいと思えますので、第二地連のより多くの仲間の参加を引き続きお願いします。

【副議長 植村 純】



豚汁の具材を切り大鍋で煮込んでいます。



団結祭り明けの週に、自宅近くの川を散歩してみた。前日の台風の影響から来る荒天から打って変わって、台風一過、見事な秋晴れで、身も心も洗われる思いで、爽やかな気持ちになった。このように自然界においては、どうしようもないほど荒れた悪天候の後でも、それを補って余りあるほどの素晴らしい空の青さと太陽の輝きをもたらしてくれたりする。私たちは賃金確定闘争はじめ、まさに暴風雨ととってもいい厳しい環境の中で闘っている。団結を堅持し頑張り抜く中で、何とか素晴らしい晴れ間を見たいものである。そのためにも、働く仲間同士が力を合わせ、共に進んで行きたい。

【K・T】



荒川支部

(豊田 浩史)

先日、自身二度目となる団結まつりに参加しました。当日は寒さと断続的に続く雨という悪天候の中、たくさんの来場者が訪れ、団結まつりの大きさがうかがえました。私達、第二地連は来場者の冷えた体と心を温める「豚汁」と日々の嫌な事を忘れさせてくれる「ウーロンハイ」を販売し大盛況でした。普段、他支部との交流があまりない中、団結まつりに参加できて、たくさんの仲間と交流ができて最高の日でした。



北支部

(小野頼 修)

10月25日(日)に木場公園にて第23回国労団結祭りが行われて、4年ぶりの参加をしてみました。今年も、毎年行われていた亀戸の中央公園から場所が江東区の木場公園へ変更となり、初めての開催場所なので地域の住民の方々が来てくれるか

心配でした。土曜の夜から雨が降り、当日の午前中まであいにくの空模様でしたが、肌寒い中傘を差しながらも地域の住民の方々が来てくれて、大変嬉しく思いました。第二地連の模擬店は、恒例の豚汁とウーロンハイの販売でしたが、肌寒さい天候に助けられ、周りの模擬店の客足がいまひとつながらも、暖かい



文京支部

(榎本秀和)

当日は小雨の降る中参加した第二地連の皆様方、大変お疲れ様でした。

私が地連常任委員になり、初めての共同作業が団結祭りでした。私にとってすべてが初めてで、ちゃんとお手伝いができるかと心配でしたが、台東支部の染谷さんから「お前も手伝え」と言っていたので、皆さんの輪の中に入り、豚汁を作ることができました。染谷さんありがとうございました。



豚汁を販売している第二地連の模擬店は大盛況でした。そして、参加者皆で売り上げに貢献しつつ地連内の団結を深めるとともに楽しく交流をする事が出来ました。

した。あと、大変驚いたのが皆さん、段取り良く豚汁を作っているのと、楽しそうに和気あいあいと料理をしていたのが印象的でした。私も早く皆さんの輪の中に入れてよう頑張りたいと思うのでよろしくお願いします。



台東支部 〔江森 正二〕

当日、小雨の中、早めに会場へ行き、地連の仲間と共に豚汁作りをし、例年になく美味しくできあがり、午後には完売。また、地連の仲間や他の労働組合の仲間と交流ができ、09賃金確定闘争に向けて、組合員の仲間と共に頑張っていると思えます。昨年は、亀戸



豚汁で交流会!



寒い景気も
豚汁で
温まります



ちよつと一腹!



編集後記

今年度の国労団結まつりは、亀戸公園から木場公園に変更になり、豚汁を食べてくれるか心配でしたが、小雨の中、多くの来客に恵まれ大繁盛でした。また、第二地連だけではなく各地連の方も来ていただき、有難うございました。来年は亀戸公園だと思しますので、更なる交流を盛り上げていきたいと思えます。

【一】